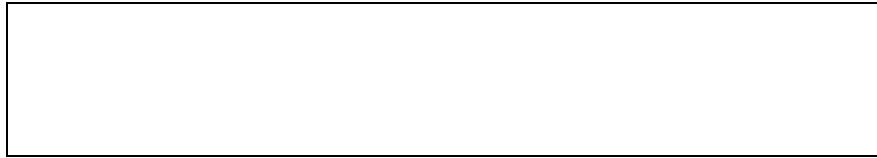


第 163 回学長定例記者会見 お知らせ事項 3



<https://www.iias-3questions.info/tyugoku>



ポスター受付

2/26(月)まで

とつておきの「不思議」、求む！

あなたはどんな「不思議」を追っていますか？

「研究テーマ」や「問い合わせ」の手前にある
不思議、驚き、探求心--- WONDER

ここは、そのWONDERがぶつかり合って
融合や破壊、そして創造が生まれる対話の場

「ひらめき」や「気づき」は
あなたが行動した結果としておとずれる
ご応募、お待ちしています

全国キャラバン 3 QUESTIONS [中国地区編]

2024年3月3日(日)-6日(水)@広島大学 東千田キャンパス

所属組織や専門名だけで内容を判断してしまいがちな先入観を取り除き、本音で意見交換するための数々の工夫をとりいれました。存在すら知らなかった語彙や視点、手法と遭遇し、自身の探求の幅を広げると共に、分野や組織を超えた共同研究の創出をねらいいます。



こんな 研究者 の方へ

- ・ 自身の研究テーマについて多角的かつ本質的な意見がほしい
- ・ まだ見ぬ出会いにワクワクし、思いもよらなかつた新しい発見を求める
- ・ このような企画に集う研究者らのコミュニティに参加してみたい
- ・ 本企画に訪れる企業と共同研究につながれたらいい



<https://www.iias-3questions.info/tyugoku>



企画趣旨：今日の学術界および学術行政は、短期的な視野での実施になりがちと学内外から批判されることも少なくはありません。研究者もまた日常業務や業績競争の波に押され、根本から問う姿勢を保てなくなっている傾向があることもまた事実です。今、どの大学（人）も短期的な成果創出のプレッシャーと退治しつつ、学問本来の営みの保持に四苦八苦しているのではないかでしょうか。直接的に役に立つ研究もさることながら、そもそも役に立つとはどういうことか？をも同時に問うことで学術の豊かな土壤は保たれるはず。正直いって、今日、学問の灯火を単独の大学で守るのは難しい。全国規模で学術を掘り起こす必要があるのではないでしょうか。分野も組織も超えて研究を磨きあう場を、地域の場でいろんなステークホルダーを巻き込んでやってみたい！と考え、本事業の実施に至ります。この挑戦と一緒に頂けませんか？ 研究ポスターの申請、お待ちしております。